

データ処理装置及び方法

- 学習データを用い、所期のデータ集合を構築可能

①技術分野

学習データを用い、所期のデータ集合を構築するデータ処理装置及び方法に関する技術です。

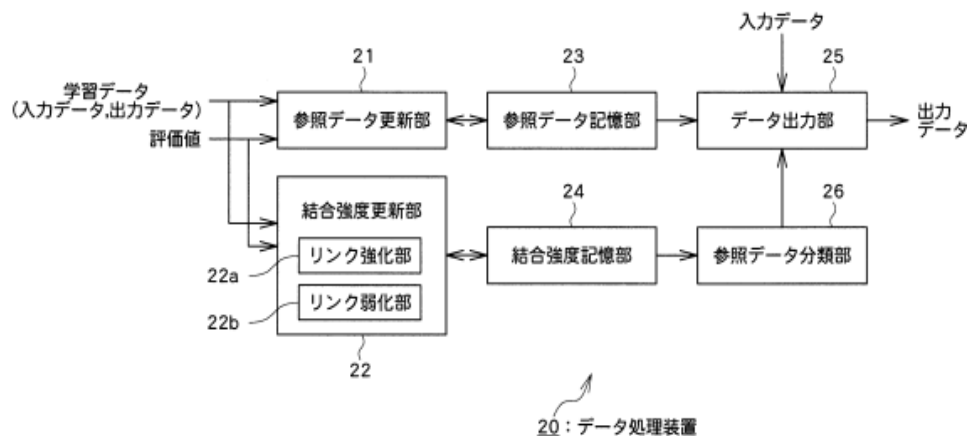
②発明の背景と目的

- ・ 入出力データの望ましい関係が複数存在しても(入出力データ間の写像関係が多価関数の関係にあっても)、そのことを把握することができないという問題があります。
- ・ 目的は、学習データ及びその評価から、所定評価のデータ群及びそれらデータ相互の関係を獲得できるデータ処理装置及び方法を提供することです。

③発明の構成と効果

構成

データ処理装置20は、複数の参照データを記憶する参照データ記憶部23と、前記参照データの各組み合わせの結合強度を記憶する結合強度記憶部24と、前記複数の参照データの少なくとも一部を、所与の学習データに対し、該学習データに対する評価に応じて接近させ又は離間させる参照データ更新部21と、前記学習データとの類似度に応じて、少なくとも一つの前記参照データの組み合わせを選出するとともに、選出される前記参照データの組み合わせの結合強度を、前記学習データに対する評価に応じて更新する結合強度更新部22と、を含みます。



データ処理装置の構成図

効果

参照データ群は所定評価を有するものとなり、また結合強度により参照データ相互の関係を判断できるようになります。